

協会案内

循環型社会のためにみんなでアクション

アルミ缶リサイクル



アルミ缶リサイクル協会



協会案内

リサイクル率100パーセントを目指して 着実に活動の輪を広げています

アルミ缶リサイクル協会は、創立以来50年以上、アルミ缶リサイクル活動を推進してきた団体です。
リサイクル率100%を目指して、日本全国の回収ルートづくりやさまざまな広報・啓発活動を行っています。
また3R推進団体連絡会の一員として、3R推進活動に取り組み、循環型社会の実現のために積極的に活動しています。



アルミ缶リサイクル協会の目的

当協会は、アルミ缶のリサイクルを推進することで資源・エネルギーの有効利用を図り、空缶公害の防止による自然環境保護に寄与することを目的に、1973年(昭和48年)2月に創立しました。

以来、回収ルートづくりやさまざまな広報・啓発活動を積極的に行ってまいりました。現在では皆様のご協力を得て、リサイクルの輪は大きく広がり、高いリサイクル率を維持しております。

循環型社会を作っていくうえでは、使用済みアルミ缶をリサイクルして再びアルミ缶に戻すこと(水平リサイクル: CAN to CAN)が重要と考えております。

今後も、「環境」「資源」「省エネルギー」「CO₂排出量削減」をキーワードにアルミ缶のリサイクル活動を進めてまいります。

基本方針<目標>

- ①安定的にリサイクル率92%以上を維持する。
- ②2025年までに2004年比で6.0%以上の軽量化を目指す。
- ③アルミ缶回収協力者推薦数は、学校・一般とも前年度以上を目指す。

沿革

- 1973年(昭和48年) オール・アルミニウム缶回収協会設立
- 1989年(平成元年) 『アルミ缶リサイクル協会』に改称
- 1992年(平成4年) アルミ缶リサイクル率が50%を超える
- 1997年(平成9年) 容器包装リサイクル法が施行
- 2005年(平成17年) アルミ缶リサイクル率が90%を超える

事業活動

①回収ルートの整備・支援

自治体の回収負担を軽減させるため、啓発用資料・情報類を提供するなど、自治体ルート以外の回収ルートの支援活動を行っています。

a.分別収集(自治体回収)への協力と支援

自治体が行うゴミ減量・リサイクルのイベントなどに回収袋、パンフレットなどを提供しています。

b.集団回収(自治会・ボランティア団体・学校などによる回収)への協力と支援、表彰

アルミ缶回収活動に際し説明資料(チラシ、パンフレットなど)・ポスターを提供、回収業者の紹介も行っています。

また、表彰制度を設け、毎年、優秀な回収実績を上げている団体の表彰を行っています。

- アルミ缶一般回収協力者表彰 1976年以降、2,200団体以上表彰
- アルミ缶小・中学校回収協力者表彰 1993年以降、1,600校以上表彰

c.拠点回収と、事業系回収の促進

「回収拠点」として登録された事業所へ情報提供などのサービスを行っています。拠点についても表彰制度を設け、毎年優秀回収拠点の表彰を行っています。

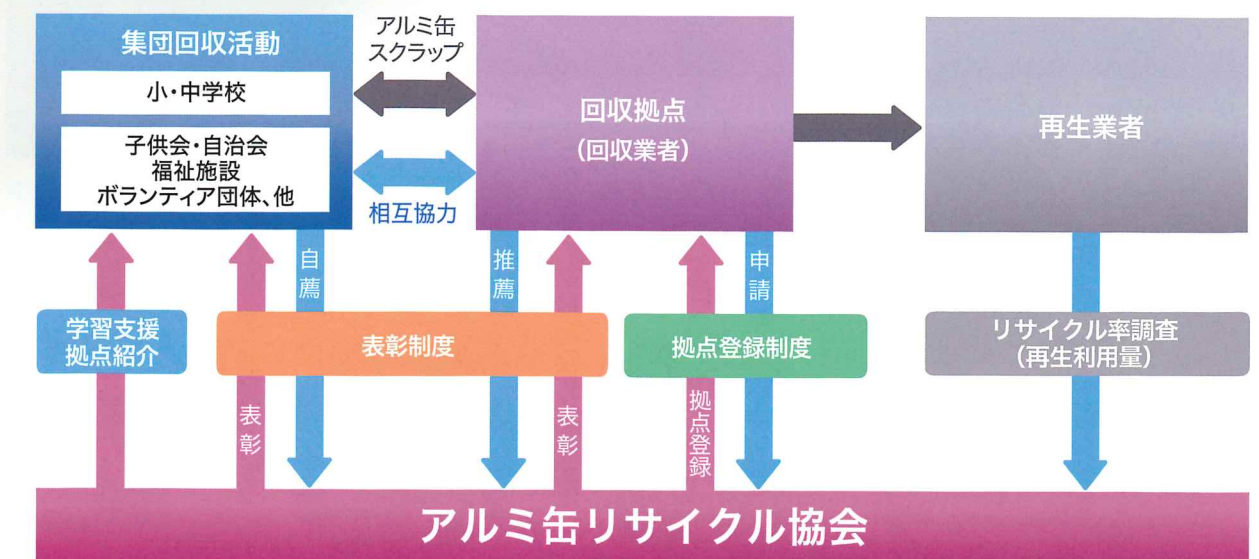
②広報・啓発活動

環境教育及び消費者への啓発活動としてポスター・パンフレット・DVDなどの制作と提供を行います。広報誌「アルミ缶リサイクルニュース」を年4回発行、配布しています。

③調査活動その他

- アルミ缶リサイクル率(回収・再資源化)及び缶材への再生利用(CAN to CAN)率などの調査
- 再生利用フローの作成
- リデュース率(軽量化)の調査
- 需要量の予測
- アメリカやEU諸国など海外のアルミ缶リサイクル率や社会システムなどの調査
- アルミ缶リサイクル促進に関する情報提供・政策提言

(集団回収支援体制——表彰制度、拠点登録制度、学習支援、拠点紹介、など)

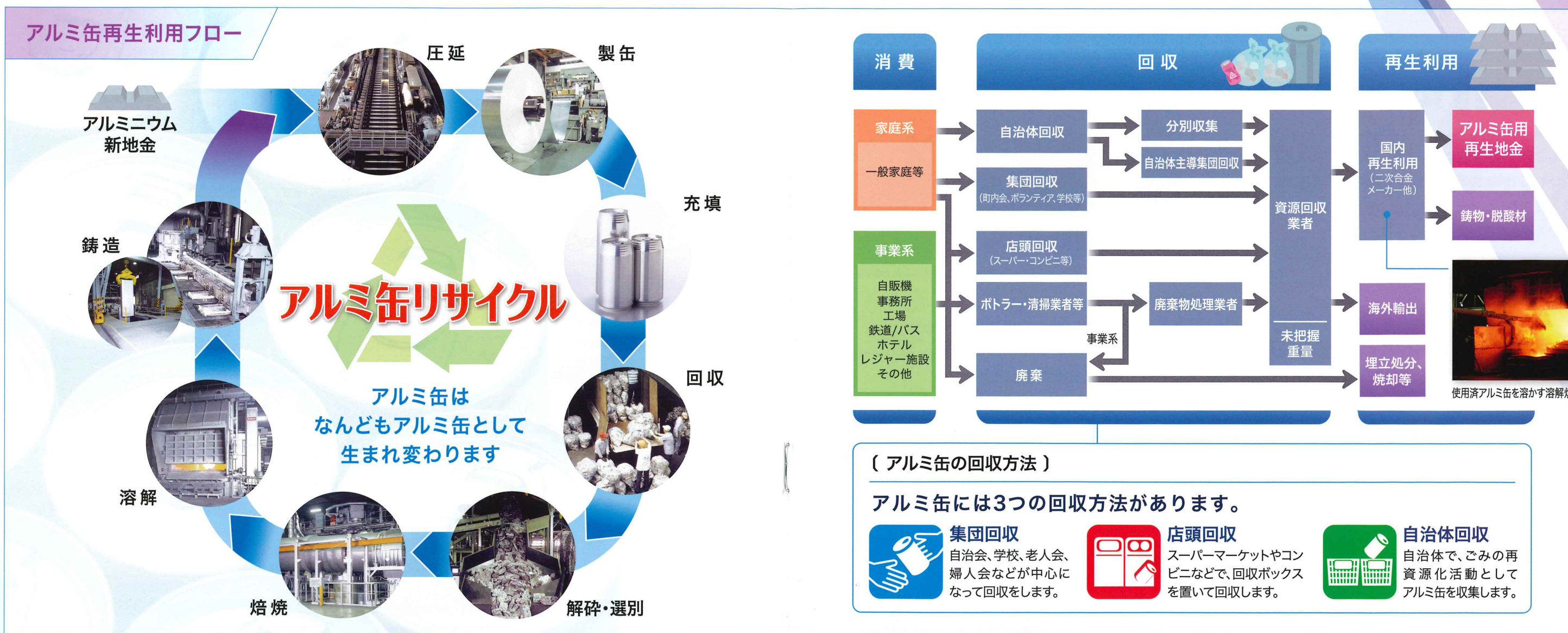


リサイクルの流れ

使い終わったアルミ缶を回収、再生利用するルートが整備されています



アルミ缶リサイクル率が安定して優れた成果を残してきたのは、アルミ缶を回収するさまざまなルートがあって、多くの人が参加できるような仕組みができてきているからです。使用済みのアルミ缶は、集団回収、店頭回収、自治体回収などを経て回収され、その後、アルミ再生地金にリサイクルされます。またアルミ缶には、「アルミ缶からアルミ缶へ何度でも生まれ変わることができる」という特長があり、アルミ缶リサイクルは資源の有効利用にたいへん役立っています。



リサイクルのメリット

アルミ缶リサイクルは豊かな未来のための活動です

アルミ缶は優れた飲料容器であり、貴重な資源です

アルミ缶は9割以上がリサイクルされており、「リサイクルの優等生」として知られています。

それは、資源の有効活用、ごみの減量化、省エネルギー、CO₂排出量削減などの大きなメリットがあるからです。

私たちの豊かな未来のために、

アルミ缶リサイクル活動にぜひご協力をお願いします。

メリット ① 資源を大切にできる

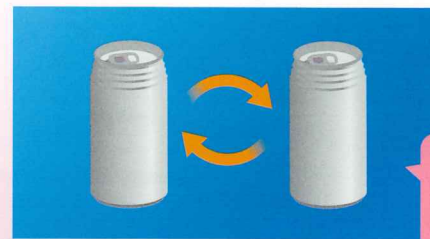
アルミ新地金の原料のボーキサイトは、貴重な天然資源です。しかも、日本は新地金を100%海外から輸入しています。アルミ缶をリサイクルすることで限りある資源の有効活用を図ることができます。



ボーキサイト

メリット ② ごみが減る

アルミ缶をリサイクルすれば、国内で入手できる大切な資源になります。アルミ缶を捨てずに何度もリサイクルすることでごみを少なくすることができ、埋め立て地の負荷を減らせます。



リサイクル
すれば
ごみにならない!

メリット ③ エネルギーを節約できる CO₂排出量を削減できる

回収されたアルミ缶から再生地金を作ると、新しくボーキサイトから地金を作るのに比べて97%のエネルギーを節約できます。(3%のエネルギーで地金に再生することができます)

また、CO₂の排出量を1/30に減らすことができます。

97パーセント
節約!



3Rとは



R リデュース = ごみの量を減らすこと

R リユース = くり返し使うこと

R リサイクル = 資源や製品に再生して利用すること

3R(スリーアール)は、この3つのRの頭文字をとったことばです。ごみの排出量を減らし、モノをくり返し使い、資源や製品として再び利用することで、環境に配慮した循環型社会を構築するためのキーワードです。

3Rで循環型社会を構築し、 未来へつながる美しい地球環境をめざして

3R代表品種のリサイクル

アルミ缶をはじめ、
さまざまな容器包装が
リサイクルされています



アルミ缶



新しいアルミ缶や
自動車部品など



スチール缶



建築資材や
新しい缶



古紙



トイレトペーパーや
いろいろな紙製品



あきびん



新しいびんや
その他の製品



ペットボトル



せんい製品や
新しいペットボトル

協会からのお願い

安全に回収し、確実にリサイクルするために
アルミ缶を集める時は以下の点に注意してください。

アルミ缶のつぶし方

つぶし方は簡単です。缶のまん中をギュッと踏んで、
両端をつぶします。つぶすときにけがをしないよう
に気をつけてください。

※自治体によってはつぶさずに回収しているケースが
ありますので、お住いの自治体の要領に従ってください。



まん中を踏む



軽くつぶせば
OK!

タブは缶からはずさずにいっしょにリサイクル

飲み口のタブは環境保護のため、フタから離れないようになっています。タブはタブだけで回収するのではなく、缶に付けた状態で丸ごと回収してください。無理にタブを取るとケガをする場合もあり、危険です。



タブ

ボトル缶のキャップは付けたままで

ボトル缶のキャップもアルミ製なのでリサイクルできます。キャップも貴重なアルミ資源です。軽く水洗いした後、水分をよく切ってから、キャップを軽く締めて回収してください。

※自治体によってはキャップだけを別に回収しているケースがありますので、お住いの自治体の要領に従ってください。



キャップ

アルミ缶にタバコを入れしないでください

アルミ缶にタバコの吸殻を入れると、リサイクルの妨げになるだけでなく、火災の原因になる可能性があります。

アルミ缶リサイクル

検索

アルミ缶リサイクル協会



〒170-0005 東京都豊島区南大塚1-2-12 日個連会館2階

TEL 03-6228-7764 FAX 03-6228-7769

<http://www.alumi-can.or.jp>